

## 令和6年度 大阪府中央卸売市場運営取引業務協議会 議事要旨

開催日時：令和6年11月15日（金）午前10時00分から

場 所：ホテルプリムローズ大阪 2階 鳳凰東の間

出席委員：13名

小野会長、大西会長代理、橋爪委員、三木委員、堀ノ内委員、山橋委員、榎本委員、西田委員、湊上委員、糸島委員、川合委員、藤橋委員、足立委員

### 議題 大阪府中央卸売市場経営戦略の進捗状況

#### 出席委員からの主な質問・意見等

##### 【質問1】

資料1の3ページ目、「3. 経営成績」について、当期純利益が令和4年度から令和5年度では、倍以上増加しているが、その理由は何か。

##### 【回答1】

改修事業について、2023年度においては設計業務を主に行ったため、工事事業費が減少したことにより、支出が大幅に減少し、当期純利益が増加した。

##### 【質問2】

資料2の8ページ目にあるBCPの関係について、地震災害を想定した取り組み内容の報告があったが、昨今では、大雨や台風といったゲリラ豪雨的な災害が増えている。そういったことへの対応はどのようにされているか。

##### 【回答2】

大雨や台風については、大阪府全体として災害本部等を設置し、それに基づき情報収集等を実施しながら、市場内の情報共有と併せて、随時被害状況を確認していく体制を取っている。過去、管理棟にて雨水があふれ出た事例があるが、この原因は排水管のつまりによるものであった。施設自体の老朽化が進んでいるため、随時、修繕していく必要がある。

## 【その他】

○ 市場会計全体の収支は、良好な状態にあり、活性化事業に関してもこれまでの取組を行いながら、新たな取組も進められていた。

○ 流通をめぐる状況は大きく変わってきており、市場としても、引き続き、生鮮食料品の供給機能を発揮していくうえで、変化への対応を開設者や指定管理者、場内事業者の方々が行っていくことが必要。これまでの取組を踏まえながら、更なる活性化の取組を進めて頂きたい。